

まつもと市議会だより



「女子野球タウン」である松本で、全国高校女子硬式野球リーグ No.1 を決める「第3回松本ローズカップ 2025」が開催されました。
(9月27日、28日/信州グリーンローズスタジアム四賀)

contents

② 特集 令和6年度決算審査

④ 9月定例会

概要…4

委員会審査の結果から…5

審議結果…6

一般質問…7

⑭ 第2回臨時会、第3回臨時会 ほか

⑮ 活動レポート

⑯ キラリ★輝く市民にインタビュー！

編集後記 ほか

特集

市民目線で慎重にチェック 令和6年度決算審査



9月定例会で提出された令和6年度の決算関係議案について慎重に審議するため、9月25日から4日間（土日を除く）にわたり決算特別委員会が開催され、予算の使い方は適正かつ効率的であったのか多角的な視点から審査を行いました。

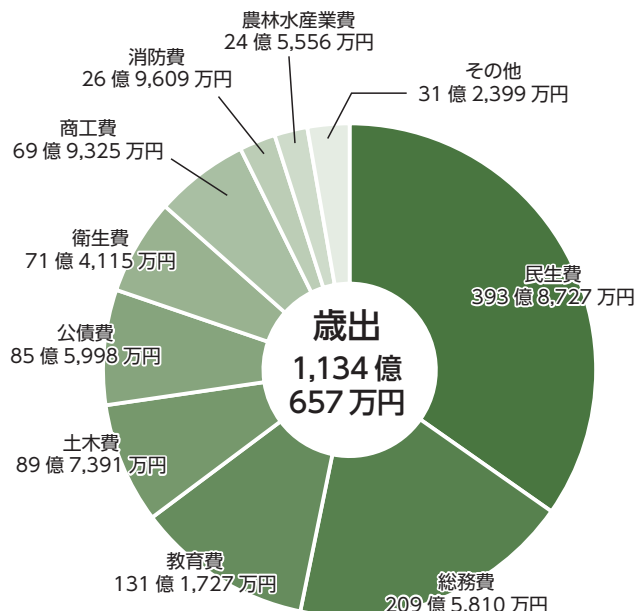
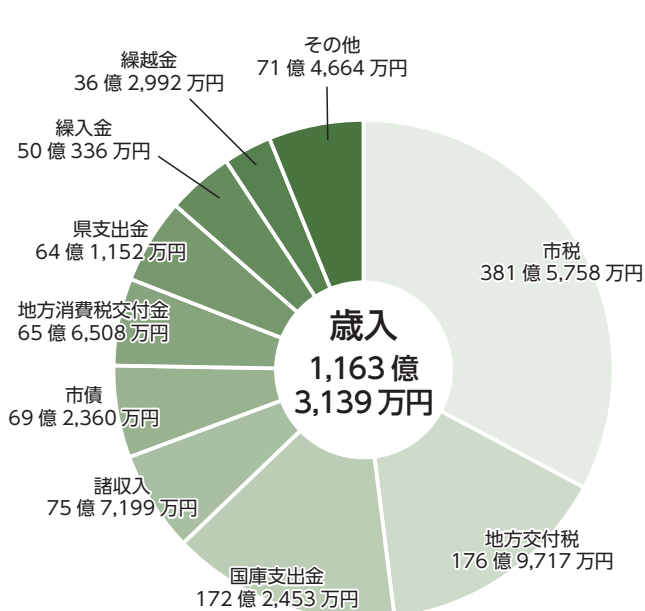
審査の中で、委員からどのような質問や意見があったのか、その一部をお伝えします。



決算特別委員会の様子はこちらからご覧いただけます



一般会計



特別会計

会計名	歳入	歳出	差引額
母子父子寡婦福祉資金貸付金	2,330万円	1,113万円	+ 1,217万円
霊園	2億 7,624万円	2億 572万円	+ 7,052万円
国民健康保険	225億 5,841万円	222億 2,305万円	+ 3億 3,536万円
後期高齢者医療	39億 9,135万円	38億 6,769万円	+ 1億 2,366万円
介護保険	226億 8,215万円	225億 9,150万円	+ 9,065万円

会計名	歳入	歳出	差引額
公設地方卸売市場	4億 8,858万円	4億 8,858万円	0円
市街地駐車場事業	2億 3,361万円	2億 3,361万円	0円
奈川観光施設事業	1億 7,413万円	1億 7,413万円	0円
松本城	14億 7,246万円	12億 6,968万円	+ 2億 278万円

企業会計

会計名	総収益	総費用	当年度純損益
水道事業	49億 3,505万円	49億 2,421万円	+ 1,084万円
下水道事業	70億 5,224万円	61億 8,007万円	+ 8億 7,217万円
農業集落排水事業	6,989万円	6,868万円	+ 121万円

会計名	総収益	総費用	当年度純損益
地域排水施設事業	1億 4,585万円	1億 4,237万円	+ 348万円
病院事業	54億 525万円	53億 4,402万円	+ 6,123万円
上高地観光施設事業	5億 2,353万円	4億 3,548万円	+ 8,805万円

Q & A

決算特別委員会の中で行われた質疑の一部をご紹介します。

ふるさとまつもと寄附金



Q 本市の返礼品は国の基準に適合しているか。

A 中間業者、委託業者に指示し、改めて産地等の確認をしたところ、基準を外れるものはないことを確認している。

松本城観覧料電子チケット



Q 昨年 7 月から開始された、入場日時を指定できる電子チケットの販売成果は。

A 電子チケットの利用率は 1 日平均約 7 % で、繁忙期には最大 26 % に達した。最大の効果としては、待ち時間の解消が図られたことで、電子チケット利用者はほとんど待つことなく天守まで登城できるようになった。

単独道路橋りょう維持補修事業



Q 足元工事（道路補修工事や歩道整備工事など）の実施件数の推移は。

A 令和 5 年度の 637 件から令和 6 年度は 529 件に減少している。

要望 市民から道路状況に対する苦情が多く寄せられている。市民の声を踏まえて今後の予算編成を行ってほしい。

インクルーシブセンター事業



Q 昨年 4 月に開設したインクルーシブセンターについて、センター化による成果と取組みの現状は。

A センター化に当たり、インクルーシブ教育推進員として配置した現役教諭 3 名が学校現場に入り、担任や特別支援教育コーディネーターと連携して、学齢期の支援の充実を図っている。令和 6 年度は、積極的な周知により相談件数は例年の 1.5 倍となり、とりわけ小中学生の保護者からの相談が多く寄せられた。

また、センターに臨床心理士を 2 名増員し、就学・進学時に必要となる検査を医療機関と連携しながらセンター内で対応できる体制を整えたことにより、速やかに支援を始められるようになった。

総括質疑

委員会最終日には、市長や監査委員の見解を求める 4 件の総括質疑がありました。その一部をご紹介します。

水道事業



本市では、令和 3 年度の中核市移行に伴い、包括外部監査制度を導入しています。令和 5 年度に実施した包括外部監査「水道事業に係る財務事務の執行と経営に関する事業の管理について」での指摘や意見について、委員からは、監査委員、市長の見解を求める質問がありました。

監査委員

包括外部監査の結果に対しては適切な対応が求められるため、対応していないものについては取組みを進めてほしい。

市長

喫緊の課題であった「水道料金の妥当性」については、令和 8 年度からの料金改定が決定しており、「水道事業の広域連携」については、現在関係者で協議を進めている。また、30 件の指摘等があった「会計処理の適正化」については、処理済みが 3 件、着手済みが 26 件、処理不要が 1 件となっている。

四賀有機センター



令和 6 年度をもって廃止となった四賀有機センターの管理費について、堆肥販売手数料と堆肥運搬・散布委託料の契約から支払いまでの一連の事務手続きに不備がありました。委員からは、そのような手続きが続けられてきたことに対する市長の見解と、不備のチェックができなかったことに対する監査委員の見解を求める質問がありました。

監査委員

2 年に 1 度、施設の所管課に対し定期監査を実施してきた経過があるが、監査上問題がある可能性が高いとの認識はなく、契約内容の詳細なチェックまでは行っていなかった。今後は競争性が発揮されない一者随意契約は、委託料の算定根拠が合理的な基準に基づいているかなどを重要な着眼点と捉え、各種監査の一層の改善に努めていく。

市長

旧四賀村の意向を尊重する形で当時の運営をできるだけそのままに引き継いできており、事業の見直しについて議論は行われず漫然と前例を踏襲した業務となってしまうことは反省すべき点である。また、四賀有機センターと同様に合併前の状況を強く引きずる施設が一部残されていることから、必要に応じて見直しを行っていく。



昨年、経済文教委員会で視察した四賀有機センター

市民の暮らしと調和した松本ならではの観光振興を進めるための松本市宿泊税条例などを可決

令和 7 年 9 月

定例会

9 月 1 日～9 月 19 日

(会期 19 日間)

今定例会では、市長から提出された議案 28 件のほか、人事 1 件、請願 1 件、議会案 1 件を審議し、それぞれ議決しました。

▶委員会審査の結果は P5、審議結果の一覧は P6、一般質問は P7～13 をご覧ください。

こんなことが決まりました！

国際文化観光都市としての魅力向上に向けて 松本市宿泊税条例を可決

本市の観光資源の魅力を高め、市民生活と調和した持続可能な観光振興を図り、次世代へ継承する施策を展開するため、宿泊者 1 人当たり 1 泊 150 円の宿泊税を徴収する条例を可決しました。宿泊税の導入は、令和 8 年 6 月を目指し、制度開始 3 年間は 1 泊 100 円を徴収することとしています。

また、今定例会では、条例のほか、宿泊事業者の事務負担を軽減するための予約管理・精算システムの改修を補助する経費など、宿泊税の導入に向けた関係経費を含む予算を可決しました。

長引く物価高騰を受け、

子育て世帯への支援策として「松本市子育て支援電子クーポン」を配布へ

議案第 9 号 令和 7 年度松本市一般会計補正予算（第 4 号）

【物価高騰対応子育て世帯支援事業費 2 億 92 万円】

子育て世帯の物価高騰による経済的負担を軽減するため、国の地方創生臨時交付金を活用し、市内の商店等で使用できる「松本市子育て支援電子クーポン」を配布するための予算を可決しました。

対 象 基準日（令和 7 年 9 月 1 日）において、平成 19 年 4 月 2 日以降に生まれた子（高校生年代まで）が属する世帯

交付額 子ども 1 人当たり 5,000 円



人 事

下記の人事案件について、同意しました。

■人権擁護委員／めすだ 召田 せいご 正悟 氏
やまぐち 山口 たかふみ 高史 氏

採 択

陳 情

市民が市政についての要望や意見を議会へ文書により提出するものです。議員の紹介は不要です。

なお、委員会審査の中で採択・不採択・一部採択・趣旨採択を決定します。

私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書

- ・私立高等学校への経常費補助金（一校一律および生徒数割）や教育条件改善のための教育施設・機器の補助について、継続・増額を求めるもの
- ・生徒募集や広報活動に対して支援・協力を求めるもの

→詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。



可 決

議会案

実現に向けて国会や関係行政庁に送付しました。

地方財政の充実・強化に関する意見書

地方公共団体が担う役割を確実に実現するため、地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方交付税等の一般財源総額を確保することを国に求めるもの

→詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。



委員会審査の結果から

市長から提出された議案は、それぞれ所管の委員会で審査し、その審査結果を参考に本会議で議決します。今定例会の委員会では、議案の審査のほかに、請願、陳情を審査しています。また、併せて委員協議会を開催し、市政の懸案事項について協議し、報告を受けています。ここではその一部をお伝えします。



議案第 9 号 総務委員会

令和 7 年度松本市一般会計補正予算（第 4 号） 【乗鞍ゼロカーボンパーク推進事業費】

乗鞍観光センターの建替え、広場の整備などを行う「乗鞍観光センター周辺整備事業」の令和 10 年度の竣工を目指し、来年度から工事に着手できるよう、今年度中に実施設計を完了するものです。

こんな質問が出ました

Q 脱炭素先行地域に関する指定の辞退により、当初予定した財源が見込めなくなるが、概算工事費が 19.6 億円となる乗鞍観光センター周辺整備事業の計画を見直すことは考えているか。また、当初予定していた交付金の額と新たな財源確保策は。

A この計画は地元や関係機関との協議のもと進めてきたもので、乗鞍ゼロカーボンパークの実現を目指すことに変わりはない。当初、1 億 3 千万円ほどの交付金を見込んでいたが、今後は他の補助金や有利な起債で財源確保に努め、現状の計画のまま取組みを進める。



乗鞍観光センター完成イメージ



議案第 9 号 厚生委員会

令和 7 年度松本市一般会計補正予算（第 4 号） 【一般管理費（民生委員・児童委員活動見直し事業）】

民生委員・児童委員活動の見直しの一環として、燃料価格や物価の高騰により活動実態と見合っていない活動費（通信費、印刷費、交通費等の実費弁償）を年額 12 万 400 円から 15 万円に増額し、後継者不足に対応するものです。

こんな質問が出ました

Q 民生委員・児童委員を対象に実施したアンケートにおいて、活動費の具体的な金額に対する意見や要望はあったか。見直し後の活動費を算定した根拠は。

A アンケートでは、「現在の活動費が足りているか」との質問に対し、「足りていない」と回答した方はいたが、具体的にいくら不足している等の金額に関する意見は出なかった。

見直しに当たっては、県内 19 市の金額を参考とし、特に隣接する塩尻市および安曇野市の金額を参考に検討を行った。



議案第 9 号 経済文教委員会

令和 7 年度松本市一般会計補正予算（第 4 号） 【商業振興事業費（まちなかトライアル事業）】

中心市街地の活性化と未来を見据えた人材の創出を目的に、まちなか未来 Talk（次世代を担う事業者と関係者が協働する場）で出されたアイデアに基づいて実施するトライアル事業の経費を補助するものです。

こんな質問が出ました

Q まちなか未来 Talk を知らない若者層への周知や参加促進の取組みについて、市として今後どのように進めていく考えか。

A まちなか未来 Talk は諸課題の解決に向けた協働の場であるとともに、中心市街地の未来を見据えた人材の創出も目的としている。人材育成や人脈形成の観点からも、参加者を限定せず、多様な人々が積極的に議論に参加できるよう広く若者に呼びかけていく。

※今回の予算では、花時計公園を全天候型イベント公園にするため、大型テントが設置されました。



10 月 8 日から 11 月 18 日まで花時計公園に設置された大型テント



議案第 9 号 建設環境委員会

令和 7 年度松本市一般会計補正予算（第 4 号） 【管理不全空き家対策事業費】

安曇地区にある特定空家等を、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく行政代執行で解体する経費等を計上するものです。

※特定空家等…倒壊の危険や衛生的な問題により周辺住民に重大な悪影響を及ぼすおそれがある、または適切な管理が行われず著しく景観を損なっている空き家等

※行政代執行…所有者等へ特定空家等の適切な措置を依頼しても行われない場合に、行政が代わってその措置を行うこと。この措置にかかる費用は所有者等へ請求する。

こんな質問が出ました

Q 市内の他の特定空家等の状況はどのようなになっているのか。

A 市内には他に 2 軒の特定空家等があるが、行政代執行はあくまでも最終的な手段であり、所有者による解体を促していく。



基礎や柱が腐朽し、家屋の一部が崩壊した空き家

審 議 結 果

詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。



総：総務委員会 厚：厚生委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会

：賛否の分かれた議案など

条例

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
1	松本市宿泊税条例	総		可決
2	松本市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	総		
3	松本市四賀新林業構造改善施設条例の一部を改正する条例	建		
4	松本市立小学校、中学校条例の一部を改正する条例	経		
5	松本市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	総		
6	松本市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	総		
7	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例	総		
8	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	建		
28	松本市特別職の職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	総		可決

予算

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
9	令和7年度松本市一般会計補正予算（第4号）	4 常任		可決
10	令和7年度松本市霊園特別会計補正予算（第1号）	建		
11	令和7年度松本市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	厚		
12	令和7年度松本市公設地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）	経		
13	令和7年度松本市奈川観光施設事業特別会計補正予算（第1号）	総		
14	令和7年度松本市松本城特別会計補正予算（第1号）	経		
15	令和7年度松本市水道事業会計補正予算（第2号）	建		
16	令和7年度松本市下水道事業会計補正予算（第1号）	建		

決算等

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
17	令和6年度松本市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決算 特別		継続 審査
18	令和6年度松本市歳入歳出決算の認定について	決算 特別		
19	令和6年度松本市公営企業会計決算の認定について	決算 特別		

契約

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
20	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市計画道路中条白坂線白坂橋上部工工事）	総		可決
21	工事請負契約の締結について（令和7年度市道7553号線月見橋下部工工事）	総		
22	工事請負契約の締結について（令和7年度市道田ノ萱万年橋線万年橋補修工事）	総		
23	工事請負契約の締結について（令和7年度市道波田230号線電安橋補修工事）	総		
24	工事請負契約の締結について（松本市立波田小学校長寿命化改良事業第2期主体工事）	総		

道路

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
25	市道の認定について	建		可決
26	市道の変更について	建		

その他

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
27	訴えの提起について	総	可決	可決

人事

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
一	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	一	一	同意

請願

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
請2	地方財政の充実・強化を求める国あて意見書の提出を求める請願について	総	採択	採択

陳情

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		回付 委員会	審査 結果	
陳7	私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書	経	採択	一

議案

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
議8	地方財政の充実・強化に関する意見書	一	一	可決

賛 否 の 分 か れ た 議 案 な ど

○：賛成 ×：反対 議：議長（※議長は表決には加わりません。）

議案 番号	会派名 議員名	誠の会						政友会						開明					松本市議会 公明党			まつも都				日本共産党 松本市議団					
		中山	宇留賀	土屋	今井	犬飼	阿部	太田	こば	太田	和久井	西澤	牛丸	村上	中島	菊地	吉村	川久保	上條	芝山	大久保	内田	上條	近藤	花村	神津	上條	横内	宗田	塩原	犬飼
		英子	響	眞一	ゆうすけ	信雄	功祐	更三	陽子	正徳	悟	郁弥	仁志	幸雄	昌子	徹	幸代	文良	温	稔	美由紀	麻美	美智子	晴彦	恵子	ゆかり	一正	裕治	まゆ美	孝子	明美
15		○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	
28		○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	

「ここが聞きたい!!」
一般質問



本会議では、議員が市民の代表として市の政策などに対する質問を行っています。
9月定例会では、20人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
ここでは、一議員につき一項目の質問と答弁の要旨を掲載しています。

各議員の一般質問の録画映像を松本市議会ホームページで見ることができます。二次元コードからアクセスしてください。



健康福祉部長 過去3年間の外国人住民による新規の保護申請件数は13件で、そのうち12件が保護決定になっている。受給に至る主な要因は、日本人受給者と同様に、傷病等による就労能力の喪失、失業による収入の減少等が挙げられる。保護決定に当たっては、在留資格の確認のほか、日本人と同様の手続きとして、生活歴の聞き取り、預貯金調査、扶養調査など、必要な調査を実施している。滞在年数は、保護決定に必要な情報とされていないため、データ化しておらず、統計として把握していない。今後は、統計として把握できるようにシステム入力を検討する。

外国人住民の生活保護受給の現状
外国人の生活保護受給、不動産取得等、日本人の生活を脅かしているかのような言説を耳にするが実感はない。現在、市内で生活保護を受給している外国人住民が受給に至った理由と、日本での滞在期間は。

質問項目

- 所有者不明土地について
- 外国人問題について
- 再生可能エネルギーについて



政友会
にしざわ 郁弥



健康福祉部長 今年度から「母子の退院日から120日」に利用期間を拡充したが、今後は、国が示す「出産後1年」に拡充するため調整を進める。委託料は、物価高騰による経費増加等を踏まえ、来年度の増額に向け調整を進める。また、多様なニーズに対応するためにも、専門職が直接自宅に出向く訪問型のサービスを新たに導入し、産後の子育てのスタートを多面的に支援する体制整備を進めたい。

産後ケア支援体制の拡充を
産後ケア事業では、料金の一部を委託料という形で市が負担し、利用者負担を軽減しているが、本市は近隣市に比べて利用者や事業者の負担が大きく、双方から委託料の見直しや期間の延長など、支援の拡充を求める要望がある。また、他市でも実施されている訪問型の産後ケアの導入を求める声もある。このような実態や要望を受け、今後、制度をどのようにしていく予定か。

質問項目

- 産後期の母子支援



政友会
こば 陽子





政友会
牛丸 仁志
うしまる ひとし



質問項目

- 上高地の対応について
- 土地利用の計画について

土地利用の在り方の将来像

Q 国営中信平三期農業水利事業や中部縦貫自動車道松本波田道路建設事業という国の大きなプロジェクトが動くタイミングは、松本の未来の土地利用にとって重要な転換期である。若者や将来の市民に対し、農業水利事業と道路整備効果を実感できる土地利用の在り方の将来像をどう示していくべきか、市長の見解を伺う。

A 市長 中信平三期農業水利事業は、優良農地保全、田園集落の景観維持の観点からも重要である。一方で、道路整備事業の範囲に含まれる新村インターチェンジ周辺は、広域交通の結節点となり、農業、工業、物流が立地して新たな雇用を生み出す産業集積拠点としてのポテンシャルが高い。各地域の将来像は、松本市都市計画マスタープランで掲げているが、今後の両事業の進捗を睨みながら、適切な時期に具体的な土地利用の在り方を示していく。



政友会
太田 正徳
おhta まさひろ



質問項目

- 民生委員・児童委員の重要性
- 修学旅行の魅力と意義
- 日本の人手不足

修学旅行の交通費に対し補助を

Q 長引く燃料高騰などにより修学旅行の交通費や宿泊費が値上がりし、体験活動に充てる費用が圧迫されている。本市小中学校の修学旅行費用の一人当たりの負担は、コロナ禍前後でどのように変化したか。また、バス等交通費の補助を行う考えはあるか。

A 教育次長 一人当たりの費用負担は、小中学校ともに、令和元年度と比較して令和7年度は約7千円の増となっている。人件費の上昇、燃料費の高騰、インバウンド需要の増大などが影響していることが主な要因である。教育活動におけるバス代の増大は、保護者の経済的負担の増加や費用を抑制するため学校行事の縮減に繋がりがかねないことが懸念される。交通費補助については、修学旅行に限らず、小中学校で実施する学校行事等に参加した児童生徒に対し、一定程度の補助を行う具体的な仕組みを検討している。



日本共産党松本市議団
宗田 まゆみ
そうだ まゆみ



質問項目

- 地域住民の願いが叶う松本市立病院の在り方について

地域医療構想の中の市立病院の役割

Q 令和5年12月定例会一般質問において市立病院の経営強化プランについて質問し、在宅医療の強化、居宅支援事業所の設置、保健予防活動、地域住民の声の吸い上げについて今後検討していく旨の答弁があったが、その後の進捗状況は。

A 病院局事務部長 在宅医療の強化については、訪問看護の充実を図り、訪問件数は月平均で令和5年度の361件から6年度は386件に増加し、7年7月単月では503件となった。また、レスパイト入院を積極的に受け入れ、令和5年度24件から6年度は53件に増加した。居宅支援事業所の再設置については、引き続き検討する。保健予防活動については、医師・看護師等による出前講座を令和6年度は48回実施した。地域住民の声の吸い上げについては、院内投書等により意見をいただき、患者サービスの向上に取り組んでいる。

※1 国営中信平三期農業水利事業 農業水利事業は、大河川を水源に利用し、ダム、頭首工、用水路などを建設して、新規水利権と農業用水を確保し、大規模な水田、畑地などに供給することで農業生産力を高め、食糧自給率の向上を目的とする事業。中信平農業水利事業は二期事業が完了しており、三期事業の内容は今後示される予定

※2 松本市都市計画マスタープラン 本市の都市計画に関する基本的な方針を示すもので、今後の都市づくりに関する個別・具体的な都市計画の決定や見直しの際の法的根拠となるもの。各種個別の事業計画は、この計画に基づいて実施される

※3 レスパイト入院 在宅で療養されている患者さんの介護者が一時的に休息を取ることを目的とした短期入院のこと



日本共産党松本市議員
塩原 孝子
しおばら たかこ



質問項目

- 生活保護をあたりまえの権利に
- 介護保険制度25年目を迎える課題について
- 認知症になっても安心して外出できる街づくり

生活困窮世帯へエアコン購入費等の補助を

Q 災害級の猛暑の中、エアコンがない状況は命に関わる事態である。県内では、高齢者世帯のうち住民税非課税世帯を対象に、エアコンの購入補助を始めた自治体もある。生活困窮世帯へのエアコン購入費等の補助を行う考えはあるか。

A **健康福祉部長** 酷暑により、エアコンは生命維持に不可欠となっているが、経済的困窮世帯では設置が困難な場合も多い。生活困窮者自立支援法では、エアコン購入に対し直接的な補助制度がないため、国の支援策創設を期待する一方、市独自の支援策の必要性を感じている。検討に当たっては、他の社会保障制度等との重複を避け、対象者の範囲や給付額等を慎重に見極めることが重要である。公平性と実効性のある支援策実現に向け、他市の事例を調査研究し、検討を進めていく。



日本共産党松本市議員
犬飼 明美
いぬかい あけみ



質問項目

- 共生社会について
- 脱炭素社会を進めるために
- さらなる子育て支援
- 移住・定住について

外国人を敵視する排外主義

Q 今回の参議院選挙では、外国人に関して事実とは異なる情報が拡散し、外国人を敵視する排外主義がみられたが、これに対する市長の見解は。

A **市長** 排外主義とは、外国から来る人々や製品を自国にとって著しい脅威とみなす考え方であり、エスカレートすると、外国人に対する差別的な待遇を正当化することにつながる。市が生活保護や土地売買で外国人住民を優遇している事実はなく、外国人の刑法犯の検挙件数も、外国人住民の増加とは比例していない。こうした事実を冷静に受け止め、排外主義の広がりが懸念される今こそ、本市で暮らしたいと考える人々を同じ市民として受け入れ、異なる価値を尊重する国際色豊かな多文化共生のまちを目指す必要があると考える。



誠の会
中山 英子
なかやま えいこ



質問項目

- 「自転車を楽しむ三ガク都」の取り組み状況について
- 中小企業の酷暑対策

中小企業の酷暑対策に補助を

Q 年々深刻化する猛暑の影響は、地方の中小企業や製造現場を直撃し、空調や排熱対策等の設備投資が避けられない状況である。加えて、原材料費の高騰、最低賃金の引上げ、社会保険料負担の増大等も重なり、経営は非常に厳しい。雇用と労働者の健康、地元企業を守るためにも、国の補助制度の周知や活用支援に加え、持続的な独自支援メニューを検討する必要があると思うが、市の見解は。

A **産業振興部長** 本市では、熱中症対策を目的とした支援制度は設けていないため、国のエイジフレンドリー補助金の活用を推進する。企業訪問に合わせた案内や、中小企業向け情報誌「労政まつも」とや市ホームページへの掲載、さらに松本商工会議所と連携し、制度の活用について周知したい。独自の補助制度の創設は現時点で考えていないが、国や県、他市町村の取組みについて、動向を注視していく。

※4 エイジフレンドリー補助金 高齢労働者が安心して働ける環境づくりを支援するため、60歳以上の労働者を常時1人以上雇用している中小企業に対し、厚生労働省が実施している補助制度。職場環境改善コース（熱中症予防対策プランなど）を含む4つのコースがある

用語解説

質問項目



誠の会
おみた 太田 更三
こうぞう

- 地方自治と国政
- 食糧安全保障



消費税に対する市長の見解は

Q

日本は、輸出製品を作るまでに支払った仕入れ消費税分を、輸出補助金として一部の大手企業に還付している。消費税率が上がるたび、還付金も膨らんでいるが、消費税は企業補助金なのか、それとも社会保障の財源なのか。将来の消費税率の引上げや将来世代の負担についても含め、消費税に対する市長の見解を伺う。

A

市長 輸出還付制度は「実質的な輸出補助金である」との見解は、消費税の持つ意義や効果の一面であると考え。消費税は社会保障を維持、安定化させるために不可欠な税制であると認識しているが、ヨーロッパ各国で行われている経済状況にに応じた税率の弾力的な運用の検討、消費税の持つ「逆進性」という問題に着目したアプローチが必要だと考える。また、世代間の公平性についても税制全体として問い直す必要があると認識している。

質問項目



松本市議会公明党
おおくぼ 大久保 美由紀
みゆき

- 移住・定住促進に関する施策について



乗鞍地域の特性を活かした移住推進

Q

乗鞍地域は、老朽化したペンションや民宿の空き家が多い。新潟県三条市では、一般社団法人が国の交付金等を活用して、借り上げたビルを改修し、お試し移住施設や移住者向け住宅等を展開している。本市でも乗鞍の地域特性を活かし、空き宿を活用した移住推進を展開できないか。

A

移住交流推進室長 既存の宿泊施設を活用し、シェアハウス形式の居住施設や移住を検討される方のお試し住宅、短期滞在者向けの住宅として転用することが考えられる。事業展開に当たっては、のりくら高原ミライズ構想協議会や地元事業者などと連携を図り、必要な施設の検討や利用可能な物件の把握、国の交付金などの活用について研究する。乗鞍地域には、デュアルスクールの希望者の増加や観光業に携わる方々の住居確保など、潜在的な住宅需要もあるため、課題解決に向けて積極的に取り組んでいく。

質問項目



松本市議会公明党
うちだ 内田 麻美
あさみ

- 第27回参議院議員通常選挙を終えて
- 起立性調節障害について



起立性調節障害の相談窓口

Q

岡山県や熊本県では独自にガイドラインを作成し、相談できる医療機関を自治体別にリスト化している。本市には、起立性調節障害などの症状について、小中学生の保護者が相談できる窓口などはあるか。

A

教育監 「朝なかなか起きられない」「立ち上がるとめまいやふらつきがある」「倦怠感や頭痛があり登校できない時がある」などの症状については、学校や教育委員会の学校支援室へ相談いただくよう保健室だよりや学校通信、市ホームページ等で周知している。相談の中で原因が特定できず、解決が難しい場合は、学校支援室が主催する「元氣UP教育相談」を相談窓口として勧めているが、相談は、スクールソーシャルワーカーと医師が、本人や保護者、教員等と面談を行い、今後の対応の方向性について専門的な見地からアドバイスを行っている。

※5 消費税の持つ「逆進性」 所得が低い人ほど、所得に占める消費税の負担割合が多くなる現象

※6 デュアルスクール 住民票を異動させることなく、地方と都市との2つの学校の行き来を可能にし、双方で教育を受けることができる制度

※7 起立性調節障害 立ちくらみ、失神、朝起床困難、倦怠感、動悸、頭痛などの症状を伴い、思春期に発症することの多い自律神経機能不全の一つ



松本市議会公明党
上條 美智子
かみじょう みちこ



質問項目

- 障がい者支援について
- 手話言語条例について
- 松本市立病院について
- 地域猫について

手話言語条例制定に向けて

Q 「手話言語条例」と「他の障がいも含めたコミュニケーション支援に関する条例」とを、それぞれ目的ごとに制定することが望ましいと考えるが、手話言語条例制定に向けて、どのように進めていく予定か。

A

健康福祉部長 手話言語条例については、次期障がい者計画策定に合わせ、聴覚障がいを含め、障がいの特性に応じたコミュニケーション条例と合わせた、包摂した条例として、令和8年度末の制定を目指している。来年度の「第5次松本市障がい者計画」の策定に向けては、さまざまな障がいのある方や支援を行う事業所に対し実施するアンケート調査に、当該条例に関する項目を加えるなど、広く意見を聞く。今後は、手話言語条例と他の障がいも含めたコミュニケーション支援に関する条例をそれぞれ制定している事例を参考に、改めて検討していく。



松本市議会公明党
近藤 晴彦
こんどう はるひこ



質問項目

- 行政改革について

不適切な事務処理への対応

Q 市では、これまでのさまざまな対策にもかかわらず、不適切な事務処理が続いている。この現状をどう捉え、今後どのように対応していくのか。

A

市長 不適切な事務処理が続いている現状には、業務の多様化と量的増加の同時進行がある。加えて、この数年は電子化に移行する過渡期であり、紙ベースの処理と電子化の処理が混在し、ヒューマンエラーを誘発しやすい状況がある。まずは確認作業の強化が必要だが、それだけでは根本的な解決にならず、むしろ確認作業の時間が増え、職員の負担が増大する悪循環に陥る側面もある。アナログ的な対応を極力減らし、電子化・デジタル化を速やかに推進・完了することにより、効率性と正確性が両立した業務プロセスを目指さなければならぬと考える。



まつもと
横内 裕治
よこうち ゆうじ



質問項目

- カスタマーハラスメント対策
- 職場環境について

カスタマーハラスメント防止のための条例制定

Q カスタマーハラスメント対策は、職員の労働環境に加え、市民サービスにも影響する重要な課題である。今年度制定予定のカスタマーハラスメントを防止する条例は、何を目的としているのか。また、制定によりどのような効果を狙っているのか。

A

総務部長 条例制定は、職員が安心して職務を遂行できる環境を確保するとともに、市民の皆さんが相談等の行政サービスを利用する環境の悪化を防止することを主な目的としている。また、本市の取組みが民間企業に波及する効果も期待し、民間企業が準用できるようなマニュアルの作成も検討している。今後も有識者の意見を踏まえ、他市の有効な事例も取り入れながら、対策をより実効性のあるものにしていくとともに、社会全体のカスタマーハラスメント防止に繋がるよう取組みを進めていく。

用語解説

※8 手話言語条例 手話は一つの言語であることを明確にし、手話による意思疎通が図りやすい環境整備を促進し、手話が必要とする方が安心して生活できる地域社会の実現を目指すための条例。本市では令和8年度の制定を目指している

質問項目



まつも都
はなむら
花村 恵子



- 松本マラソンについて
- 副市長として

ジェンダー平等に対する市職員の意識

Q 今年度、市職員を対象に行ったジェンダー平等に関する意識調査は、どのような項目で実施されたのか。また、調査結果はどのようなもので、今後の市政にどのように生かしているのか。伊佐治副市長の見解は。

A

伊佐治副市長 本調査では、ジェンダー平等に関する意識、職業観、ワーク・ライフ・バランスなど、約20項目の質問のほか、自由記述により意見を求めた。調査結果から特に感じたのは、女性管理職30%達成による功罪両面の影響により、市役所において「性別にかかわらず、能力や実績で評価され、自分らしく働けること」が真の評価基準となり、当たり前のこととして皆が意識できるようになったのではないかと感じている。今回、多く寄せられた若手職員の価値観を大切に、誰もが働きやすく、生きやすい、ジェンダー平等の社会に向けて二層の取組みを進めていく。

質問項目



まつも都
かみじょう
上條 一正



- 松本市立病院分娩医療事故と建設事業

市立病院建設基本計画の見直しを

Q 新病院は多機能な基幹病院を目指しているが、国が進める地域医療構想の考えとはずれがある。分娩を休止した今、原点に立ち返って考え直すことが必要だと思うが、市長の見解は。

A

市長 国が作成中の「新たな地域医療構想策定ガイドライン」や県の「医療提供体制のグランドデザイン」と、新病院が目指す姿を照らし合わせると、地域住民の多様なニーズに応える「総合診療」の機能を備えることなど共通点が多く、「第二種感染症指定医療機関」や「へき地医療拠点病院」といった、地域型病院という概念の枠を超えた部分も持ち合わせている。分娩を継続するか廃止するかは、病院長の結論がまとまり次第、病院事業管理者と協議し、市議会厚生委員協議会に示したい。建設基本計画の見直しの必要性については、その後に検討すべきことだと考えている。

質問項目



まつも都
こうじ
神津 ゆかり



- 西山アルプスエリアの将来像
- 南松本の地域デザイン
- 子どもたちに当たり前の性教育を

南松本地域のリデザイン

Q なんなんひろばに市民課窓口を設置し、図書館機能を拡充、体育館を改修するなど、こども・若者・教育・福祉などの機能が集まる拠点として、塩尻市のえんぱーくのような施設に整備する構想を提案したい。市の見解は。

A

総合戦略室長 なんなんひろばは、社会教育の拠点的な複合施設であり、子ども・若者支援として、今年4月に、若者参画課に青少年ホームと結婚相談事業を移管し、窓口をなんなん広場内に設置するなど、取組みを強化している。一方、建物は供用開始から30年以上が経過し、空間の配置や老朽化などの課題があると認識している。また、松南地区住民が利用しやすい環境整備も必要だと考えている。市の南部の学習や活動を支援する拠点として、今後改修を行う中で利用者の声を聞き、時代に即した利用しやすい施設となるよう対応していく。

※9 地域医療構想 中長期的な人口構造や地域の医療ニーズの質・量の変化を見据え、医療機関の機能分化・連携を進め、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制の確保を目的とするもの

※10 新たな地域医療構想策定ガイドライン 令和8年度に各都道府県で作成する新たな地域医療構想のためのガイドラインで、7年度中に策定される

※11 医療提供体制のグランドデザイン 中長期を見据えた県の目指すべき医療提供体制の在り方と、その実現に向けた大枠の方向性を示すもので、第3期信州保健医療総合計画の中で示されている

※12 第二種感染症指定医療機関 急性灰白髄炎（ポリオ）、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、中東呼吸器症候群（MERS）、鳥インフルエンザなどの二類感染症の患者の治療を行う病院



開明
菊地 徹
とくち きくち



質問項目

■ 地域資源と観光行政

文化と観光

Q 博物館と文化財課が教育委員会から文化観光部に移管された。文化と観光を一体で推進しようとする、経済効果や観光振興に資さない文化は不要とされる。今は教育委員会に残る社会教育部門も、いずれ市長部局に移管されるのではと憂慮する。以前移管された美術館と共に、博物館、文化財課を教育委員会の所管に戻すべきと考えるが、市長の見解は。

A

市長 美術館、博物館、文化財課は、歴史文化資源の研究・鑑賞機会を増やし、価値向上を図るため、文化観光部で所管することが望ましいと考える。また、文化と観光の調和により、魅力的な文化観光ルートを提案でき、歴史文化資源への関心と理解拡大が期待されるため、教育委員会に戻すことは考えていない。また、教育委員会に残る社会教育部門の市長部局への移管は考えていない。



開明
川久保 文良
かわくぼ ふみよし



質問項目

■ 福祉行政
■ 市長の政治姿勢

くらし安心サービスの充実を

Q 若者や女性だけでなく、男性や高齢者、障がいのある方からも選ばれ、本市に住む全ての人が安心して暮らせるよう、独自のくらし安心サービスを充実すべきと考えるが、市の見解は。

A

健康福祉部長 団塊の世代が後期高齢者となり、認知症高齢者や高齢者ひとり暮らし世帯等の増加に伴う高齢者支援、また障がい者に対する認知度や理解の向上に伴う障がい者支援の充実が求められている。これまでに成年後見制度の利用促進や終活支援等に取り組んできたが、多様化するニーズにこえるためには独自のサービスの充実を進めていく必要があると考えている。生活の見守り・相談・情報提供、財産管理、病院や施設での手続き支援などのサービスを提供できる仕組みを研究し、市社会福祉協議会などの福祉団体と協議連携を図りながら福祉施策を進めていく。



開明
芝山 稔
しばやま みのる



質問項目

■ 松本市立病院

市立病院建設計画と今後の産科の診療機能

Q 新病院建設に向けて大きな山場を迎えている。この度の産科の医療事故を受け、今後産科の診療機能はどのようにしていくのか。また、市立病院は県の「医療提供体制のグランドデザイン」の中で示されている地域型病院として、多機能性を追求する必要はない。一度立ち止まり、総合的に建設基本計画から見直すべきと考えるが市長の見解は。

A

市長 産科の診療機能を継続するか廃止するかについては、病院局が現在、外部の有識者や近隣の分娩機関から意見聴取した結果などを分析し検討している。病院局の結論がまとまり次第、病院事業管理者と協議し、市としての方針を決め、市議会厚生委員協議会で示したい。建設基本計画の見直しの必要性については、その後に検討すべきことだと考えている。

※ 13 ヘき地医療拠点病院 ヘき地医療支援機構の指導・調整により、無医地区等における巡回診療や、ヘき地診療所等への医師派遣等を行う病院

※ 14 地域型病院 県の「医療提供体制のグランドデザイン」の中で示されている、今後増加が見込まれる疾患（心不全、肺炎、骨折等）を中心に対応し、地域包括ケア体制の要となる機能などを担う病院

※ 15 えんぱーく（塩尻市市民交流センター） 平成 22 年に塩尻市に開館した市民交流センター。図書館、子育て支援センター、学習室、音楽練習室などが入る複合施設。住民票など各種証明書の交付も行う

山田地区クラインガルテン整備事業に関する一般会計補正予算など、市長から提出された7件の議案を審議し、それぞれ議決しました。

◆審議結果 総：総務委員会 経：経済文教委員会



議案と議決結果



各議員の賛否

契約

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
2	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市一般廃棄物最終処分場浸出水処理施設建設工事）	総	可決	可決
3	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市一般廃棄物最終処分場埋立地土木施設建設工事）	総		
4	工事請負契約の締結について（令和6年度松本市計画道路中条白板線白板橋下部工工事）の議決更正について	総		
5	工事請負契約の締結について（松本市刈東保育園大規模改造主体工事）の議決更正について	総		

6	工事請負契約の締結について（松本市立菅野小学校長寿命化改良事業第3期主体工事）の議決更正について	総	可決	可決
7	工事請負契約の締結について（令和7年度市道1054号線道路改良工事）の議決更正について	総		

予算

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
1	令和7年度松本市一般会計補正予算（第3号）	経	可決	可決

9月定例会で継続審査となった令和6年度決算関係議案等を審議し、それぞれ議決しました。

◆審議結果 総：総務委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会



議案と議決結果



各議員の賛否

決算等

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
17	令和6年度松本市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	決算特別	可決	可決
18	令和6年度松本市歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定	認定
19	令和6年度松本市公営企業会計決算の認定について	決算特別	認定	認定

財産

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
3	市有財産の取得について（ぐるっとまつもとバス地域連携ICカードシステム）	建	可決	可決
4	市有財産の取得について（（仮称）松本市第一学校給食センター用地）	経		

契約

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
1	工事請負契約の締結について（松本市立高綱中学校長寿命化改良事業第2期主体工事）	総	可決	可決
2	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市一般廃棄物最終処分場埋立地土木施設建設工事）の議決更正について	総		

その他

議案番号	件名	委員会審査		議決結果
		付託委員会	審査結果	
5	倒木事故に関する和解について	経	可決	可決

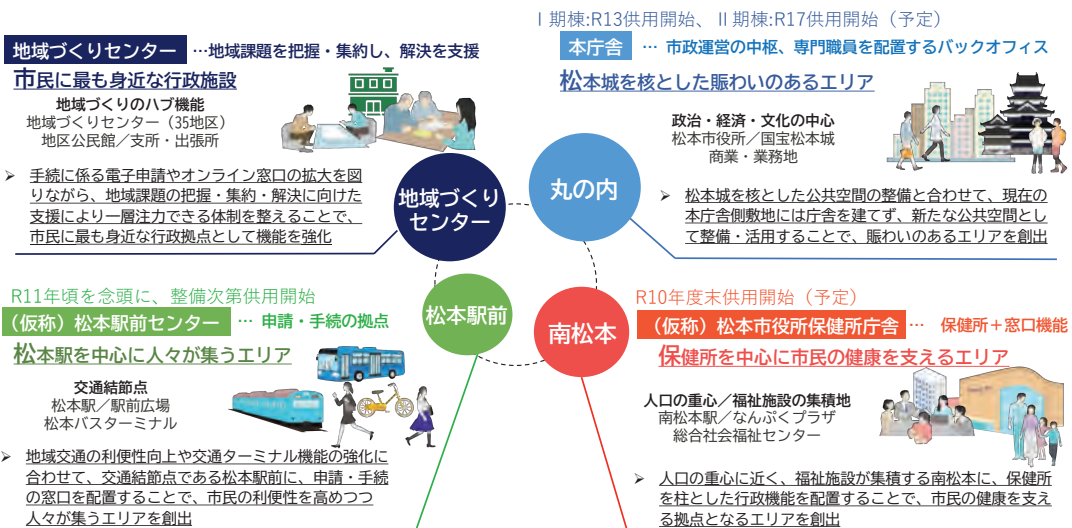
市役所新庁舎建設基本計画の改定案を了承

市役所新庁舎建設特別委員会での議論を経て、令和2年に「松本市役所新庁舎建設基本計画」が策定されましたが、デジタル化の急速な進展や働き方の変化など社会情勢の変化を踏まえ、「市民に身近な市役所づくり」を基本に、質の高い行政サービスを提供していくため、内容の見直しを反映した「松本市役所新庁舎建設基本計画改定版（案）」が7月29日の市役所新庁舎建設特別委員会に提出されました。委員からは、継続協議とする意見が多く出され、継続協議と集約されました。

その後、9月24日に、前回の協議内容を受けて修正された「改定版（案）」が提出され、改めて協議されました。「本庁舎の跡地を公共空間として利用するとしているが、どのようにするのか明確でない」などの理由から、継続協議を求める委員と了承する委員が拮抗しましたが、最終的に「了承」と集約しました。

見直しポイント

- 1 地域拠点（地域づくりセンターなど）とオンライン窓口の強化拡充
- 2 申請・手続の拠点「（仮称）松本駅前センター」の設置
- 3 窓口機能等を備えた「（仮称）松本市役所保健所庁舎」の設置
- 4 本庁舎の規模のスリム化



松本市役所新庁舎建設基本計画 改定版（案）より

活動レポート



7月から10月までの議会活動から
ピックアップしてお伝えします。

各委員会の行政視察報告はこちらから →



総務委員会行政視察

R7.7.23(水)～25(金)

移住政策などについて調査を行うため、ふるさと回帰支援センターでの移住相談状況や、同じ中核市である下関市、明石市の取組みを視察しました。



視察内容

- ・長野県担当移住相談員との意見交換など【ふるさと回帰支援センター】
- ・移住、シティプロモーションの取組み【山口県下関市】
- ・移住、シティセールスの取組み【兵庫県明石市】

建設環境委員会行政視察

R7.7.23(水)～25(金)

道路整備、水道事業、空き家活用などについて調査を行うため、官民・公民連携で課題解決に取り組む先進地などを視察しました。



視察内容

- ・道路整備事業、交通政策【兵庫県神戸市】
- ・水運用シミュレータの開発・活用 など【大阪広域水道企業団八尾水道センター】
- ・空き家活用【特定非営利活動法人チュラキューブ】ほか

厚生委員会行政視察

R7.7.30(水)～8.1(金)

結婚支援、障がい者支援、動物愛護施策について調査を行うため、各事業において、それぞれ先進的に取り組む自治体を視察しました。



視察内容

- ・結婚支援事業【埼玉県、栃木県】
- ・台東区障害者支援アプリ「ささえ～る」【東京都台東区】
- ・動物愛護施策【栃木県宇都宮市】

経済文教委員会行政視察

R7.7.30(水)～8.1(金)

公設市場の活性化、まちづくりなどについて調査を行うため、賑わい創出等に取り組む公設市場やデザインを通じたまちづくりに取り組む拠点施設等を視察しました。



視察内容

- ・京都市中央卸売市場第一市場再整備事業【京都府京都市】
- ・デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)【兵庫県神戸市】ほか

議会運営委員会行政視察

R7.10.16(木)～17(金)

東日本大震災を経験した中核市議会へ伺い、災害時の議会対応や議会BCPの内容などについて視察しました。また福島市では、3月に供用開始となった市役所複合棟の議場をはじめとする議会施設を視察しました。



視察内容

- ・東日本大震災における議会対応、議会BCP【福島県福島市、青森県八戸市】
- ・議会施設の整備【福島県福島市】ほか

市立病院建設特別委員会勉強会

R7.8.5(火)

新病院の建設費高騰への対応、地域医療を支えていくための公立病院のあり方や取組方針について、総務省担当者によるオンライン勉強会を開催しました。



特別委員会の委員のほか、県担当者、病院局の職員も参加しました。

松本国際中学校職場体験学習受入れ

R7.7.24(木)

松本国際中学校の学究系生徒14名(1～3年生)が職場体験に訪れ、議会の説明、議場などの見学を行いました。



議員との意見交換では、選挙や政治に関心を寄せた質問が多く、頼もしく感じました。

生徒からは「市議会の仕事や大切さを知ることができた」「多くの発見があった。いずれ投票する立場になるので自分の考えを持てるようになりたい」といった感想をいただきました。

前期議員研修会

R7.8.25(月)

「松本市農林業振興条例の一部を改正する条例」の施行状況の検討に向けて、政策評価・検証に関する知識を深めることなどを目的に、関西学院大学法学部教授 小川大和氏を講師に迎え、オンライン研修を実施しました。

令和3年に市議会から、松本市農林業振興条例に「スマート農林業の推進」を追加することを提案し、条例改正したもので、条例改正から5年経過したところで施行状況を検討することとしています。

後期議員研修会では、県の担当者から、国・県におけるスマート農林業の施策動向等について説明を受ける予定です。



姉妹都市議会との交流事業

R7.8.7(木)～8(金)

藤沢市議会を訪問

内容

- ・研修、視察「藤沢市役所新庁舎建設と現在の状況」
- ・江の島サムエル・コッキング苑などの視察

R7.10.2(木)～3(金)

高山市議会をお迎え

内容

- ・講演「松本市立博物館の運営について」
- ・信飛トレイルルートなどの視察

R7.10.28(火)～29(水)

姫路市議会をお迎え

内容

- ・講演「史跡松本城の堀の浚渫について」
- ・松本城などの視察

キラリ
輝く市民に
インタビュー！



松本の宝「源智の井戸」を 市民の手で守りたい

～「知恵」と「ずく」惜しまない活動を～



源智の井戸を守り隊 隊長
なかじょう としじ
中條 利治さん

松本を代表する湧水の一つ、高砂通りにある「源智の井戸」。中心市街地の少子高齢化や後継者不足により、井戸の清掃活動の存続が危ぶまれる中、ボランティア隊長を買って出た中條利治さん。町会や地域を超えた活動で松本の宝を守っていきこうと、市の地域づくりセンターと共に今年3月から「源智の井戸を守り隊」をスタートさせ、月に1度清掃活動を行っています。

「守り隊長」を引き受けたきっかけは？

10年前から、隔週で源智の井戸の水を汲みに訪れ、その水を使い毎朝ドリップコーヒーを飲んでいました。松本の井戸水の中では唯一の硬水で、おいしい水を無料でいただくのは申し訳ないと思っていた中、町会加入者の減少などで地元町会が清掃の存続に苦慮しているということを新聞報道で知り、いてもたってもいられなくなりました。市長への手紙を書くなど、市も一

緒に知恵を出し合い考えてほしいと直訴する中、会の発足に至り、隊長をお引き受けしました。

「井戸は地元町会の宝のはず」と決めつけて考えていましたが、地元の方とお話する中で、この地域では各家庭に井戸があり、ここに汲みに来ている地元の方はほとんどいないことを知り、驚くと同時に、これまで地元の方々が井戸を守ってくださっていたことに感謝しました。



藻を落とすため井戸の中をブラシで清掃

「守り隊」にはどんな人が参加していますか？

広報などを通じ、近隣の地区の

方のほか、私のような利用者や、移住し地域に関わりたと思ってくれている人、地域活動に志を持つ若者など約30人がボランティア登録をしてくれました。その中で約20人が月に一度の清掃に参加してくれ、顔見知りも増えてきています。アイデアを持ち寄って工夫を重ね、軌道に乗ってきました。

今後の展望は？

「鯛萬の井戸」の地区に住み清掃を行っている方が毎回参加してくれていて、これから横の連携を取って運営協力できたらと話しています。「知恵」と「ずく」を惜しまず、地域、行政、ボランティアと、それぞれの井戸が連携し、時間はかかるかもしれませんが、松本の湧水群全体を守っていけるような活動に広げることを目指したいです。

「源智の井戸を守り隊」メンバー募集中！

〈お問い合わせ〉
第二地区地域づくりセンター・公民館
電話：39-3601

R7.8.29

議会BCP（業務継続計画）に基づく訓練を実施



今年1月に策定した議会BCPの実施訓練として、市役所庁舎の防災訓練に合わせ、総務委員会開催中の地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

退避訓練のほか、議員協議会室からの緩降機による降下訓練等を行いました。

今回の実施訓練などの取組みから、現行の議会BCPの運用体制における課題等を整理し、今年度中に見直しなどの対応を行う予定です。

◀総務委員長による降下訓練



広報部
部会長
副部会長

上 吉 上 内 太 菊 宇 中 塩 中
條 村 條 田 田 地 留 山 原 島
美 幸 一 麻 正 徹 賀 英 孝 昌
智 代 正 美 徳 響 子 子 子

Check!! 本会議が視聴できます！



ライブ中継



録画配信

令和7年12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2	3	4	5	6
	本会議（開会） 10：00～	議案調査				
		正午 発言通告締切 17：15 請願・陳情提出期限				
7	8	9	10	11	12	13
		本会議（一般質問）10：00～		委員会審査		
				10：00～ 厚生・経済文教 総務・建設環境	10：00～	
14	15	16	17	18	19	20
		委員会審査		本会議（閉会） 13：30～		

●日程は変更となる場合があります。
詳細は議会事務局（34-3210）へお問い合わせください。

9月定例会で設置された決算特別委員会では、令和6年度の予算が適切に執行されたのか、4日間にわたる慎重な審査を行いました。より一層の市民益につながる予算編成に向けて、市議会としても引き続き取り組んで参ります。師走に入り何かとせわしない時期ですが、穏やかな年の瀬と朗らかな新年をお迎えください。来年も市議会は、わかりやすい広報に努めて参ります。

編集後記